

## 【ごみ減量とリサイクルへの取り組み】

【平成22年4月～9月までの収集量】

(単位：トン)

廃プラスチック類分別収集がスタートして半年以上が経過しました。平成22年度の廃プラスチック類は年間152トンの収集目標をたてており、半年分で76トンの計算になりますが、9月末で94トンとなっており、目標より2割程度上回っています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	平成21年度 4月～9月
プラスチック	16	15	15	18	16	14	94	—
可燃ごみ	182	198	214	228	242	200	1,264	1,477
不燃ごみ	48	56	40	44	41	45	274	321

これに対し、可燃ごみ・不燃ごみの収集量は平成21年度上半期の収集量と比べて、可燃ごみで約14%、不燃ごみは約15%それぞれ減少しており、「ごみの減量とリサイクル」を目指した廃プラスチック類分別の効果に着実に現れてきていると考えられます。

その一方で、汚れが付着したものや、紙製のカップめん容器といった廃プラスチック類対象外のものが混在されていることにより資源化されない事例が一部で見受けられます。今一度、「ごみ分別ガイドブック」を確認されますようお願いいたします。

### 廃プラスチックはどこへ？

家庭から排出された廃プラスチックは、苫小牧市柏原にある明円工業㈱中間処理施設へ搬入されます。

搬入された廃プラスチックが選別機にかけられた後に、右下の写真のように作業員が手作業で紙類等の不適物を取り除きます。

### お願い！

#### 汚れたままではダメ！

1つの汚れが、全体の汚れとなり、うまくリサイクルできません。

#### 「二重袋」にしない！

二重袋：指定袋にレジ袋等で小分けにすること

ステーションから回収する際に不適物の混入を確認しなければならず、収集作業に余分な時間を要します。

#### 危険物(ライター等)は入れないで！

危険物(ライター、スプレー缶、刃物等)が混在されていると、収集・選別それぞれの作業をする人にとって大変危険です。



## 財政状況

地方自治法の規定に基づいて、平成22年9月30日現在の安平・厚真行政事務組合会計の歳入歳出、財産、地方債の状況についてお知らせします。

### 予算の執行状況

(平成22年9月30日現在)

(単位：円)

歳入	予算現額	収入済額	収入率%
分担金及び負担金	296,723,000	148,364,000	50.0%
使用料及び手数料	1,000,000	474,630	47.5%
国庫支出金	11,074,000	9,967,000	90.0%
財産収入	838,000	1,348,899	161.0%
繰入金	5,988,000	0	0.0%
繰越金	1,000	919,343	91,934.3%
諸収入	9,032,000	5,420,010	60.0%
組合債	19,900,000	0	0.0%
歳入合計	344,556,000	166,493,882	48.3%

歳出	予算現額	支出済額	執行率%
議会費	159,000	49,125	30.9%
総務費	21,434,000	11,111,749	51.8%
衛生費	275,023,000	117,614,035	42.8%
公債費	46,940,000	22,689,919	48.3%
予備費	1,000,000	0	0.0%
歳出合計	344,556,000	151,464,828	44.0%

### 組合財産状況

建物	2,123.03㎡	塵芥処理場
		有機物供給センター
		保管庫
物品	車両 3台	公用車
		ホイールローダー
		油圧ショベル
基金	25,902千円	廃棄物処理施設整備基金

### 地方債の状況

区分	平成22年9月30日現在高
一般廃棄物処理事業債	228,842千円
道貸付金	4,532千円
合計	233,374千円

※ 国などから借り入れた長期間の借入金です。

※ 物品は、購入金額百万円以上を記載しています。